

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：平成30年度第4四半期（平成31年1月～3月期）



調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：31社 建設業：20社 小売業：40社 サービス業：59社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇 10.0 ~▲10.0	 曇 ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

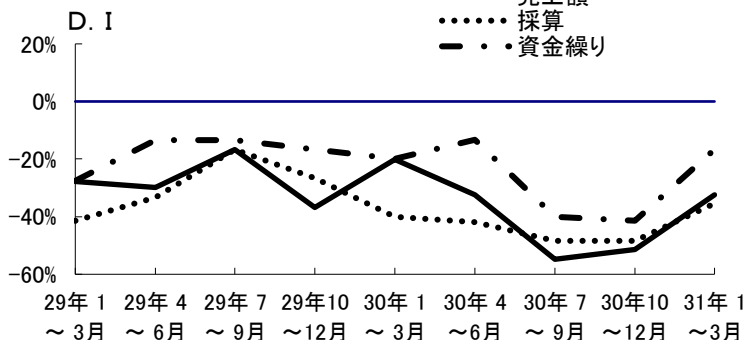
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	平成29年 1~3月期		▲ 31.1		▲ 10.0		▲ 61.1		▲ 26.7		▲ 32.2
平成29年 4~6月期		▲ 26.7		▲ 36.8		▲ 53.7		▲ 31.1		▲ 37.1	
平成29年 7~9月期		▲ 20.0		▲ 10.0		▲ 36.6		▲ 35.6		▲ 25.6	
平成29年 10~12月期		▲ 20.0		▲ 5.0		▲ 48.9		▲ 32.7		▲ 26.7	
平成30年 1~3月期		▲ 43.3		5.0		▲ 58.5		▲ 45.8		▲ 35.7	
平成30年 4~6月期		▲ 43.3		▲ 15.0		▲ 41.0		▲ 8.4		▲ 26.9	
平成30年 7~9月期		▲ 46.7		5.0		▲ 45.0		▲ 16.9		▲ 25.9	
平成30年 10~12月期		▲ 30.0		15.0		▲ 48.6		▲ 16.9		▲ 20.1	
平成31年 1~3月期		▲ 36.7		20.0		▲ 47.5		▲ 28.8		▲ 23.3	
来期見通し 4~6月期		▲ 33.3		15.0		▲ 45.0		▲ 20.3		▲ 20.9	

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



<前期比>

売上額 : 好転 (▲51.5→▲32.3 ポイント)

採算 : 好転 (▲48.4→▲35.5 ポイント)

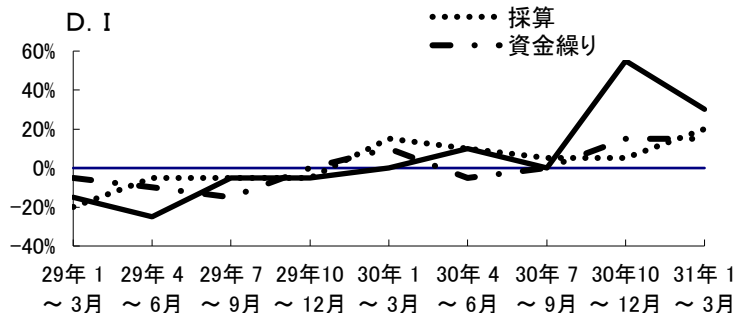
資金繰り : 好転 (▲41.4→▲16.7 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 生産設備の不足・老朽化、原材料価格の上昇 (19.4%)

2位 : 従業員の確保難、需要の停滞 (16.1%)

②建設業



<前期比>

完成工事額 : 悪化 (55.0→30.0 ポイント)

採算 : 好転 (5.0→20.0 ポイント)

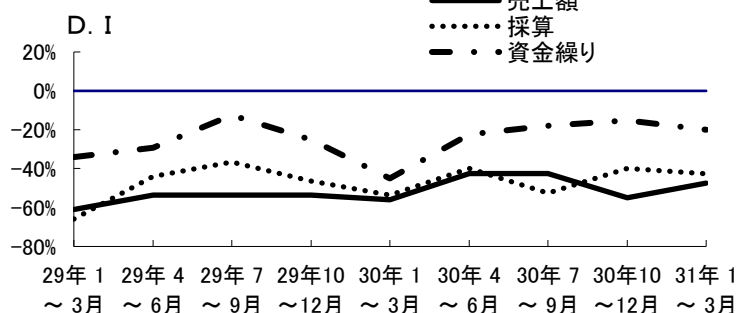
資金繰り : 横ばい (15.0→15.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 材料価格の上昇 (28.6%)

2位 : 従業員の確保難 (21.4%)

③小売業



<前期比>

売上額 : やや好転 (▲55.0→▲47.5 ポイント)

採算 : やや悪化 (▲40.0→▲42.5 ポイント)

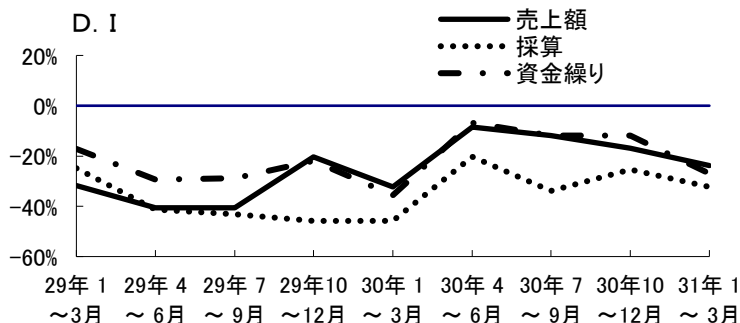
資金繰り : やや悪化 (▲15.3→▲20.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 購買力の他地域への流出 (24.3%)

2位 : 消費者ニーズの変化 (21.6%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲17.0→▲23.8 ポイント)

採算 : やや悪化 (▲25.4→▲32.2 ポイント)

資金繰り : 悪化 (▲11.9→▲27.1 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (19.2%)

2位 : 利用者ニーズの変化 (17.3%)